

**女性知事リレーフォーラム in くまもと**  
地域からのチャレンジ ~少子化の流れを変えるために~」

日時：平成15年8月1日(金) 13:00~16:00  
場所：熊本県立劇場  
内容：基調講話 広岡守穂氏 中央大学教授(チャレンジ支援ネットワーク検討会委員)

**ビデオ放映** 『県民の声』(知事討論への導入として、少子化 子育てに対する県民の皆様の意見を紹介)

**知事討論** (ビデオで出された意見を踏まえて意見交換が行われました。)

**コーディネーター：**  
広岡守穂氏(中央大学教授)

**出演：**  
堂本暁子氏(千葉県知事)  
太田房江氏(大阪府知事)  
潮谷義子氏(熊本県知事)

参加者：約1,800名

千葉県、大阪府及び熊本県の3知事による国への政策提言を契機に、平成15年8月から10月にかけて「女性知事リレーフォーラム」が3府県で開催されました。第1回の熊本フォーラムでは、男女がともに子育てに向き合える社会づくりの大切さなどについて3知事が意見を交わしました。



**担当者の声：**

- そのこと自体がロールモデルである3人の女性知事による討論会会場は、酷暑にもかかわらず1800人の参加者で埋め尽くされました。

**女性知事リレーフォーラム in おおさか**  
女性のチャレンジ~男女共同参画モデルの形成~」

日時：平成15年10月25日(土)  
場所：大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)  
内容：パネルディスカッション

**パネラー：**  
高橋はるみ氏(北海道知事)  
堂本暁子氏(千葉県知事)  
太田房江氏(大阪府知事)  
潮谷義子氏(熊本県知事)

**コーディネーター：**  
橋本俊詔氏(男女共同参画会議議員、京都大学経済学部教授)

参加者：約600名

このフォーラムは、太田房江(大阪府)、潮谷義子(熊本県)、堂本暁子(千葉県)の3女性知事の発案で、生活者の視点で社会を捉え直し、地域主権を地方から実現するため、女性知事が連携していこうと開催されたもので、これまで、熊本、千葉とリレー形式で開催され、今回が3回目となります。今回、高橋北海道知事が初めて参加し、女性知事全員が顔を揃えました。

始めに、名取はにわ内閣府男女共同参画局長による励ましのメッセージの後、「女性のチャレンジ」をテーマに4知事が熱心な議論を展開しました。まず、太田知事から、「男女雇用機会均等法、育児休業法など法的な整備は進んできたが、社会の根底から大きく変わるといふ意味の改革はまだ不十分。少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中で、日本が成長を維持するには、女性・高齢者が働ける条件整備が重要」と問題提起したあと、女性の活躍できる企業づくりの事例を紹介しました。潮谷知事は、平均年齢70歳を超えた女性達の活躍例をあげ、「貨幣的な価値のビジネスだけでなく、すばらしい人間のつながりからの起業化もある」と報告。堂本知事は「女性だけでなく、真の男女共同参画を実現するためには、男性のライフスタイルを変え、職場でも家庭でも、男女で協力し合っていくことが大事ではないか」と呼びかけました。また、高橋知事は「福祉関連のビジネスなど女性が進出できる分野は無限。特に、女性のチャレンジを広げていく上でNPOやSOHOは重要な役割を果たしうるもの」と発言しました。

最後に、4女性知事は、今後も「4輪駆動」で力強く地域主権を先導し、国にも生活者の視点の実現に向けた提言を行っていくことを確認し、終了しました。

